ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市消防団第４分団４部器具置場改築地質調査他業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

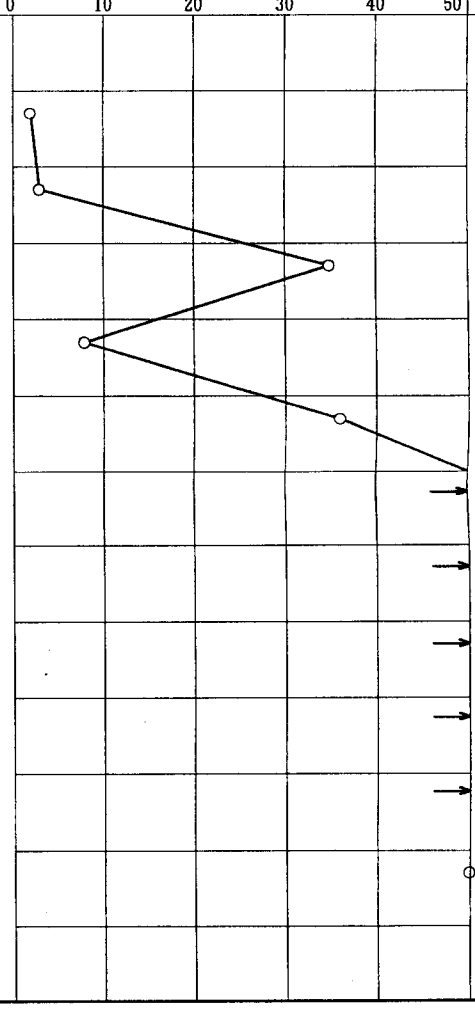
ボーリング名	No.1	調査位置	千葉市花見川区検見川町３丁目４０９番地１			北緯	35° 38' 43.0"
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成 13年 5月 22日 ～ 13年 6月 30日	東経	140° 4' 7.0"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM +0.025m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	11.45m							試錐機	YBM－05DA－2	ハンマー落下用具	コーンプーリー
								エンジン	ヤンマーNFD9－K	ポンプ	YBM GP－5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	
1	-0.98	1.00	1.00		盛土	暗茶褐			0～0.10mコンクリート 0.20mまで砂質土主体 以深粘性土を主体とし細砂を多く混入する	
2	-2.78	1.80	2.80		細砂	暗黄灰	非常に緩い		含水大位 シルトを若干混入する 砂粒子はやや不均一	沖積層
3	-3.28	0.50	3.30		中砂	暗黄灰	密な		中砂主体し全体に粗砂を混入 含水大位	沖積層
4	-4.77	1.50	4.80		細砂	暗黄灰	緩い		含水大位 粒子細かく均一 雲母片混入	沖積層
5	-11.43	6.65	11.45		細砂	暗黄褐	密な～非常に密な		含水小～中位 粒子ほぼ均一 全体に良く締まっている 所々黄褐灰色を呈する	洪積層
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										

孔内水位(m)／測定月日：5/28 2.30

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1/20	1		2/30	2
1.45 2.15	1	1	1	3/30	3
2.45 3.15	10	12	13	35/30	35
3.45 4.15	2	3	3	8/30	8
4.45 5.15	7	13	16	36/30	36
5.45 6.15	15	20	15/7	50/27	56
6.42 7.15	15	20	15/7	50/27	56
7.42 8.15	12	18	20/9	50/29	52
8.44 9.15	20	25	5/2	50/22	68
9.37 10.15	25	25/7		50/17	88
10.32 11.15	14	16	20	50/30	50
11.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
		0.20				
		1.00	1-1	⑦		
						5/28